月日 新聞 日 新聞 月日 新聞 月日 新聞 月日 新聞

會社側一歩も譲らず

再び歎願書を提出す

結束を固めた住友電線職工

大阪市西區恩貴島南之町株式會社住友電線製造所の職工千二百名は十四日午後三時西崎常務取締役から示された回答を不滿なりとし今一應交渉する必要ありとて十五日午前十一時六名の實行委員は前文と一字一句異ならぬ第二回歎願書を提出し會社側よりは副支配人川上嘉一氏が交渉の任に當り約一時間にして會見を終つた而して住友總本店では午後七時より西崎常務取締役以下電線製造所各幹部及び伸銅所、製鋼所の各重役等鳩首協議を凝らした結果、是れ以上の讓歩はなさず十六日午前十時職工實行委員との會見では十四日交付の會社側回答を更に敷衍說明して職工側の了解を求むる事となつた西崎常務は語る

職工側の要求の中心點は日給增加と奬勵加給率の遞增との二點に存し團體交渉權の如きは餘り問題にしてゐないらしいです、たゞ今日の狀態では食へないから加俸して呉れと言ふのですが私は今日平均六十圓以上を取れば先づ普通の生活はして行けると思ふ、會社の回答は愼重熟議の結果發表したものだからあれより一歩も讓れません團體交渉權に就ても既に工場内に全職工より組織せる親友會があり會社はそれを公認してゐるのですから別に問題とするに及ばぬと思つてます

一方職工側は平常通り全部出動し午後五時から實行委員の外幹部二十餘名は恩貴島町の假事務所に集合對策に就き更に凝議したが現在の第二次實行委員の外に第三、第四の實行委員をも既に選定して居り全女工四百名の連判をも取つて居て結束は可なり固いものがある一委員は

「吾々は十六日の會社の回答が滿足し得る程度のもので無かつたなら不誠實を鳴らして更に第三次委員をして交渉させ以下之に倣ひ會社が屈服する迄やります」

尙十六日からは四貴島町賀川炭店に事務所を移すと

友愛會は暫く隱忍

爭議の頻發は壓へ附けて

內容の充實を圖る

主腦者を檢擧された友愛會大阪聯合會では鈴木文治氏其他の來援を得て對策を講じ藤永田爭議應援に就ては極力對策努力して居るが、勞働問題頻發に對する同會今後の態度に關しては鈴木氏其他から種種の意見もあり旁考へる處があつて暫く穩健な態度を持し內容充實に主力を盡し他日に備へる事に方針が決定したものゝ如く住友爭議に對しては最初から時期に非ずと壓へに壓へた關係上今後も斷じて應援しないと明言して居る

尙十七日午後六時から天王寺公會堂で同會主催再度の藤永田爭議大演說會を開き鈴木、賀川氏等例に依つて熱辯を揮ふ筈

因に住友電線の職工中友愛會に屬する者は僅に百名でコノ連中は友愛會員としてより寧ろ電線工として爭議に加はつたのである

藤永田職工運動會

藤永田の罷業職工二千五百名は十六日晴天なれば給料支拂を他にして午前九時半市電木津川運河終點に集合し築港遊園地に至り運動會を開催するといふ

因に十五日千島町市電停留所附近に佇立して同造船所本工場に出勤せんとする軟化職工を脅迫したといふので泉尾署に檢束された佐伯米吉外三名は十五日午後六時、今後を誓め放還された

石原內務事務官

爭議視察に來阪

關西勞働爭議調査の爲め安井內務省事務官來阪の筈であつたが同氏病氣の爲め來阪見合せとなり石原事務官代つて十五日朝來大阪府に加々美特高課長を訪ひ、目下爭議中の藤永田造船所並に住友電線製造所の經過を聽取する處があつた

會社側の高壓手段に憤慨して結束を固む

住友鑄鋼所職工二千名調印を纏めて嘆願書を出す

大阪住友電線製造所、同鑄鋼所、同伸銅所の三工場職工が三角同盟を組織して會社に要求を提出せんとの計畫は既報の如く不調に終り電線製造所の職工のみが單獨で要求案を提出し現に爭議中であるが一方島屋町の鑄鋼所職工二千名は假令三角同盟が不調に終つたとて此儘泣寢入る能はず殊に電線製造所が既に要求を提出したのであるから直に之に倣ふべく主張し過般來寄々協議中の所十五日午後三時半から同所長山下龜太郎氏が職工中伍長組長約二百名を一堂に集め電線製造所の職工は結束して會社に嘆願の形式で要求を提出したがアレは實に輕率極まる所爲であるから決して模倣してはならぬ、會社は職工が要求するまでもなく職工の待遇改善については不斷に考慮を費してゐるのだから若し職工中要求提出に就て騷ぐ者があつたら諸君の手で宥めるやう——

と演說したので之れを聞いた各職工は却て會社側の高壓手段に憤慨して結束の鞏固を加へいよ〳〵十六日堤、山內、松田其他數名が實行委員となり左記嘆願書を提出する事に決した

嘆願書

一、團體交渉權確認

三、自己退職の場合は右の半額を支給する事

四、日給金一圓三十錢以下の者には金十五錢を增給する事

五、今回の事件に對し犧牲者を出さゞる事

六、來る六月十七日正午までに回答されたき事

希望條件

一、夜業全廢、但し不得止場合は五割增の事

尙職工二千名は既に調印を了し第一、第二、第三の實行委員二十名を選定して陣容を整へてゐる

十六大毎

新聞 月日 新聞